

散乱光弾性応力計 SLP-1000

本装置は従来の導波光利用の表面応力では測定できないLi+ ⇔ Na+ 交換による化学強化ガラスの応力分布を散乱光弾性を利用して測定可能にしました。表面付近にK+の層がある場合は導波光利用の表面応力計FSM-6000による情報と合成して断面の応力分布解析を行います。



- ◎ 屈折率分布に依存しない。
- ◎ 曲面ガラスへの対応が容易。
- ◎ ピンポイントで測定ができる。
(レーザースポット径約10 μ m)
- ◎ FSM-6000のデータと合成することができる。
- ・ 合成には、別途FsmV用 dongle が必要です。

仕 様

測定範囲	: 応力値 0-2000MPa、応力層深さ 10-400 μ m
測定分解能	: 応力 5MPa、深さ 5 μ m
測定精度	: 表面より深さ50 μ m以上 応力 \pm 10MPa 深さ \pm 10 μ m (基準ガラスに対し)
光源	: LD (640nm) 30mw Class 3B
測定対象	: 化学強化ガラス、2段強化ガラス、物理強化ガラス
測定形状	: 平面-1000R 10 \times 10mm 以上
プリズム	: nD=1.516
PC	: 専用 (OS、測定ソフトウェア インストール済)
OS	: Windows 10 professional edition
寸法	: W 320 \times D280 \times H220mm (本体)
重量	: 10kg (本体)



〒173-0024 東京都板橋区大山金井町30番9号
TEL.03-3956-4111(代) FAX.03-3956-2335

URL: <http://www.luceo.co.jp>